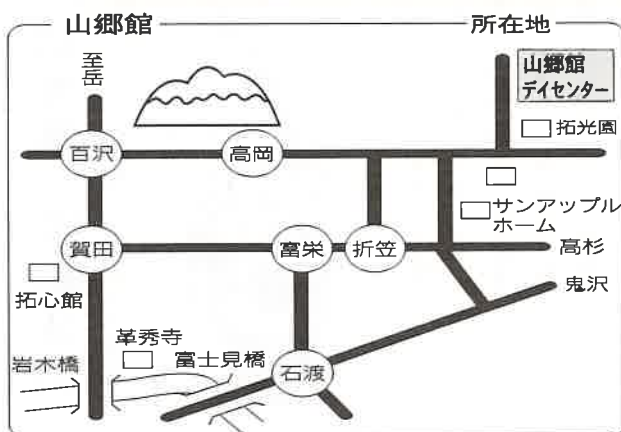


峰のひかり

発行人
社会福祉法人 七峰会
理事長 成田 梧朗
〒036-8356
青森県弘前市大字下白銀町21-8
電話 (0172) 33-8861
FAX (0172) 33-8862

身障者のデイサービス事業



山郷館のデイサービスセンターで機能訓練に励む利用者ら



家庭での介護を応援します
山郷館デイサービスセンター
(岩木町・弘前市委託事業)

ぶらっと来てみませんか

山郷館デイサービスセンターが岩木町・弘前市を拠点にして、津軽地域ではじめての身体障害者デイサービス事業として誕生してから3年目を迎えました。

身障者の介護型のデイサービスは、全国的にみても数が少なく、あまり周知されていない現状にあります。広報活動や口コミにより、センターのことを知っていただき相談やご利用いただくなど活動が広がっている現在です。

在宅生活をする身障者ご自身やご家族に少しでも力になりたいというのが私共スタッフのモットーで、入浴や食事等日常の介護を含めて、機能訓練、園芸、工芸、料理、行事等を通じた活動を展開中です。身障者を対象とさせていただくことから例えば入浴では、座ったまま入浴できるリフトや体幹保持困難な方への特殊浴槽など身体状況にあわせて入浴ができます。また家庭での生活を支援する為、機能訓練や住宅改造相談などにも重点をおいています。各種在宅サービスの利用や生活相談も24時間体制で行っていますので安心してお気軽にご相談下さい。

☎ (97) 2941
FAX (97) 2213

サンアップルホーム

いよいよ介護保険 その(1)

平成12年4月1日より介護保険が始まります。「峰のひかり」では介護保険の内容をこれから3回にわたってお伝えしていきますが、1回目は保険の概要について説明致します。

介護保険への加入は40歳以上の国民が全員対象とされます。保険サービスを受けることが出来るのは65歳以上で介護が必要とされた方か、40歳から64歳までの方で15の特定疾患により介護を必要と認定された方だけに限られます。

これは生命保険のように保険料を払い、病気やケガで入院をした時に給付を受けることと同じです。また、生命保険には満期払戻金がありますが、介護保険にはありません。そこが大きな違いです。

現在デイサービスやホームヘルパーを利用していても必ず市町村に介護保険を利用したい旨を申請して認定を受けなければなりません。この認定を受けなければ、今使っている福祉サービスを続けて使うことが出来なくなります。

認定とは、その方がどの程度介護を必要とするかを決めるもので、収入や家族構成とは関係ありません。そして、認定により自立・要支援・要介護度1～5までの7段階に分けられ、自立をのぞいて各段階毎に使える福祉サービスの量が決

められます。もし、認定結果に不服のある方は、各都道府県に設けられる介護保険審査会に不服申し立てをすることが出来ます。

次回はサービス内容とサービス計画の立て方についてご紹介します。

100歳おめでとう

―祝う会盛大に行われる―

めでたく満百歳を迎えた竹内クリさんを祝う会が3月24日に行われました。

竹内さんは、明治32年3月23日生。若い頃は稲作とりんご栽培に従事し、3人の子どもに恵まれました。芯が強く面倒見のよい方です。

当日は弘前市長より顕彰状と金盃・祝菓が贈られ、小田桐誠一郎弘前市福祉事務所長から「長寿日本一をめざして益々元気にお過ごし下さい」との言葉に笑みをうかべておりました。



ますますお元気で

生活を豊かに

拓光園 余暇活動

余暇ボランティア募集!!



余暇が生活の重要な位置を占めていることはいうまでもありませんが、拓光園では、開設当初から生活を組み立てる柱の一つとして、余暇活動に取り組んできました。現在は、生活の質を高めるためにも、社会生活を営むためにも、なくてはならない重要なものとして位置づけています。

〔クラブ活動〕

クラブ活動は、1か月に2回、木曜日に行われます。職場実習者を除いた全員が、各自の希望により7種類のクラブに所属します。ただ、利用者の皆さんのうち半数くらいの方は、自ら楽しみを見いだすことが苦手なので、職員が援助して活動を進めることもあります。活動内容はボーリング・カラオケ・写真・ゲートボール・映画・アウトドア・音楽の7種で、できるだけ街に出掛けて活動することになっています。

自宅で暮らしている人にとっては、それが当たり前であっても、施設に入ると余暇も施設の中ですませてしまうことになりがちです。ですから拓光園では、園外での活動を基本と考え、映画クラブは映画館に、ボーリングはボーリング場へ、カラオケはカラオケボックスで、という具合に出掛けて行きます。それが利用者の皆さんにも大好評で、クラブ活動の日を待ち望んでいる方が多くなっています。

〔同好会的な余暇活動〕

同好会的な余暇活動は、一人ひとりによりきめ細かな余暇活動を提供しようと始まりました。内容は、「料理」「生け花」「釣り」「茶道」ですが、活動を支える主力は、ボランティアの方々である事に特色があります。職員の役割は参加者とボランティアとの調整や活動の手助けで、あくまでもボランティアの方の得意分野で活動が進んでいきます。拓光園を利用していらっしゃる皆さんには、できるだけ多くの人とふれあう機会を増やすようにしてきました。余暇活動のボランティア導入もその考えの一環です。

お互いに楽しみ、同時にふれあう人を多くして生活を豊かにしていく―その実現を願っています。

拓光園では、いつでも余暇ボランティアを募集していますので、どなたでも、ぜひ御一報ください。

☎ 96-2331

新たなグループホームの

開設を目指して！

通勤寮 拓心館

拓心館グループでは、現在、国の認可を受けたグループホームを弘前市内に3か所開設し、男性10名、女性4名の計14名が街の中で暮らしています。また、それ以外に当法人自主運営のグループホームを弘前市内と藤崎町に各1か所ずつ開設し（現在、県に認可を申請中）、男性4名と女性2名が同様に暮らしています。

「グループホームって、なあに!?」

知的な障害を持った方の地域における生活の場のひとつで、知的な障害を持つ方も「普通の場所」で、普通の生活をするのがあたりまえ」という考えに立ち、国の制度としては、平成元年に精神薄弱者（現在は、知的障害者）地域生活援助事業としてスタートしました。

● 形態

数人（認可の場合の対象人数は4～7人まで）の知的な障害を持った方が、地域の中にあるアパート・マンション・一戸建等の住宅に入居し、同居あるいは近所に居住している専任の世話人により、食事の提供・健康管理・金銭出納の援助などといった必要最低限の援助を受けながら、家賃や食費・光熱水費等一定の経済的負担を負って共同で生活する形態です。

● 性格

そこでの生活は、地域社会における一市民としての個人の生活であり、指導や訓練的なものが最低限で、管理性が排除されたものとなっていることから、施設を単に小型にしたというものではありません。そのため、施設よりもより家庭的な雰囲気があります。

● 入居について

認可されているグループホームの場合は、満15歳以上の知的な障害を持った方で、日常生活の援助を必要とすること、数人で共同生活することに支障がない程度に身辺自立ができていて、就労していること、日常生活を維持できる収入があることの4つの条件を全て満たしていることが必要です。また、入居は福祉の措置ではなく、認可されたグループホームを希望する場合は、福祉事務所に申請し、それ以外は、運営法人等と直接交渉することになります。

知的な障害を持つ方の普通の暮らしを目指してスタートしたグループホームは、平成11年4月1日現在、認可されているものが全国で1288か所、青森県ではまだ25か所といった状況です。拓心館では、今後も利用者が地域の中であたりまえに、自分らしく暮らしていく選択肢のひとつとして、新たなグループホームの開設を目指しています。

活発な自治会活動

旭 光 園

旭光園には、利用者の方々で組織されている「自治会」があります。

開設時より、利用者全員が会員となり、協調し合い、親睦を図る事と施設への要望、提案をする機関として、自主的に結成され、現在に至っています。

現在の品川会長は、4代目に当たり、会長をはじめ、役員が中心となり、様々な活動を行っています。

例えば、施設生活を、より良い環境にするため、会議を設け、要望を施設に提案する活動、利用者全員のお祝い事やご不幸に対し、お祝い金・見舞金、災害地には、寄付を募って援助金を送るなどの活動を行っています。

また、園内で行われる行事の中には、ゲーム大会やクリスマス会等、自治会が中心になり、企画運営する行事があります。

写真は、その中の、クリスマス会の模様です。

近隣の「八幡崎婦人会」の方々による、数十年ぶりに復活を遂げたという「八幡崎小唄」の手踊りや豪華な食事で楽しみました。

品川会長に、今年の目標を尋ねたところ、

「いつも、お世話になっているボランティアの方々に、お礼を兼ねた何らかの機会を設けたい」と考えているとの事です。

これまで、会員同士の交流を目的として来た自治会活動は、地域の方々との交流も積極的に、広がりを見せてきました。今後、自治会活動の様子について、随時紹介していきたいと思っています。



八幡崎婦人会のみなさん

ご注文待っています！

・レジバック、「ミ袋」
・各種割り箸、ラベル印刷 他
【注文はこっちへこいこへ】
TEL 0172-57-5155
FAX 0172-57-5156

山郷館

車椅子のまま乗れます

トッポB_J 納車

ニールダウンス式軽車輛

障害の重度化や加齢により、山郷館では病院への通院回数も増える傾向にあります。そこでこの度車椅子の固定や乗降車操作も簡便にできるということで、軽自動車(三菱ミニカ・トッポB_J)車椅子仕様を購入致しました。軽自動車なので、車椅子は1台しか乗車できませんが、小回りが利く点がいやすく、毎日重宝しています。注文生産で販売店には展示車がありませんので、家庭での使用をお考えの方で興味のある方は、山郷館で実車をご覧下さい。尚、購入に際しては、税制面での優遇制度がありますので各市町村役場へ問いあわせてみて下さい。



七峰会評議員会及び

理事会行われる

5月29日第16回評議員会及び第29回理事会が弘前文化センターにて開かれ次の議題について満場一致で同意を得られました。

①平成10年度事業報告及び決算について

(別頁 決算報告書参照)

②定款の変更について

③諸規程の改定について

引き続き行われた理事会においては、前3議案が満場一致で承認され、又4号議案として任期満了に伴う役員の改選について審議されましたが、全員再任となりました。

新役員については、次の通りです。

理事長	成田 梧朗
常務理事	奥田 稔
理事	大平 和夫
〃	工藤 澄雄
〃	山田 郁男
〃	石崎 宜雄
〃	工藤 正義
〃	葛原 新悦
〃	桜田 旭
〃	鳴海 弘憲
〃	工藤 洋司
監事	蝦名 良一

七峰会後援会コーナー

会員一人ひとりのご意志を確かめて
— 会活動を活発にする為組織強化を

『峰のひかり』第一号で、今年度の総会が開催されて、役員の異動があった事をお知らせ致しました。

第二号では、その際会長が話された七峰会後援会の会員の会費の納入についてお知らせ致します。

総会の資料は事務局からお届けしました。その中に収支決算書があります。平成10年度には、確にお約束した通り200人の会員組織には到達したのですが旧後援会名簿を基礎とした事から、ご本人のご意志を確かめないうまま再出されたにもかかわらず約半数以上の方々に継続いただき感謝いたしています。現在会費未納の方につきましては、お許しいただきますなら再度総会資料をご覧いただきましてこの先も会員としてお力添え下さい。尚ご都合によって退会をご希望の方はご遠慮なくご連絡下さい。

後援会が後援会らしい活動が出来るのは会員一人ひとりの力の蓄積からです。

家族会総会続々開かれる

年度も変わり4月・5月下旬にかけて法人各施設の平成11年度の家族会総会が次々と開催されました。御多忙の中多数ご出席下さり感謝申し上げます。

社会福祉法人 七峰会

特別養護老人ホーム

サンアップルホーム TEL 97-2111

老人短期入所事業

サンアップルデイサービスセンター

サンアップル在宅介護支援センター

ホームヘルプ事業

身体障害者療護施設

編集 山郷館 TEL 97-2211

身体障害者短期入所事業

山郷館デイサービスセンター

知的障害者更生施設

拓光園 TEL 96-2331

知的障害者短期入所事業

自活訓練事業

社会就労センター

旭光園 TEL 57-5155

通所相互利用事業

知的障害者通所

拓心館 TEL 82-4520

地域生活援助事業

生活自立訓練事業

地域生活支援センター事業

勇心学園

社会福祉法人 七峰会 平成10年度 決算報告書

(財産目録、貸借対照表、収支計算書)

これは平成11年5月18日に法人監査会を行い、平成11年5月29日に評議員会の同意を得て、同日理事会において承認されたものです。尚、閲覧は法人本部事務所にて可能です。

財 産 目 録 (平成11年3月31日現在)

資 産 の 部			
基 本 財 産			円
土 地	(1) 中津軽郡岩木町大字百沢字東岩木山2608番11	他16件	223,149,855
建 物	(1) 中津軽郡岩木町大字百沢字東岩木山2628番地	他9件	1,102,744,089
	基 本 財 産 計		1,325,893,944
運 用 財 産			
土 地	(1) 中津軽郡岩木町大字熊嶋字亀田183番2	他6件	21,030,997
建 物	(1) 中津軽郡岩木町大字百沢字東岩木山2994番地	他6件	53,255,250
	(2) 建物付属設備 電気・ガス・暖房・消火・給排水設備		416,483,186
固 定 資 産 物 品	車輛、コピー機、除雪機、製袋機他		390,385,859
権 利	電話加入権他		1,650,500
投 資 有 価 証 券	出資金		339,620
その他の固定資産	革秀寺供養碑、水源給水設備、共済預り金他		473,521,378
現 金			166,049
預 金			218,423,752
立 替 金	福利厚生センター会費		84,000
仮 払 金	劳保11年度充当分		343,651
前 払 費 用	建物火災保険料他		2,584,746
施 設 会 計 貸 付 金	委託料未収精算他		14,883,990
未 収 金	措置費・委託料		45,562,305
受 取 手 形	授産売上代金		1,062,934
売 掛 金	授産売上代金		10,927,254
その他の流動資産	授産製品、原材料、補助材料		7,341,347
	運 用 財 産 計		1,658,046,818
	資 産 合 計		2,983,940,762
負 債 の 部			
経 常 資 金 借 入 金	青森銀行		16,000,000
未 払 金	給食用食材費他		79,141,850
未 払 費 用	時間外手当、夜勤手当 3月分		2,730,546
仮 受 金	福利厚生センター助成金		152,660
預 り 金	社保、所得税他		2,231,655
本 部 会 計 借 入 金	委託料未収精算		13,572,000
買 掛 金	授産材料購入代金		3,370,457
設 備 資 金 借 入 金	社会福祉・医療事業団		116,360,000
引 当 金	人件費、修繕、備品等購入		230,490,000
	負 債 合 計		464,049,168
	差 引 純 財 産		2,519,891,594

貸借対照表（平成11年3月31日現在）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	301,380,028 ^円	流 動 負 債	117,199,168 ^円
現 金	166,049	経 常 資 金 借 入 金	16,000,000
預 金	218,423,752	未 払 金	79,141,850
立 替 金	84,000	未 払 費 用	2,730,546
仮 払 金	343,651	仮 受 金	152,660
前 払 費 用	2,584,746	預 り 金	2,231,655
施設会計貸付金	14,883,990	本 部 会 計 借 入 金	13,572,000
未 収 金	45,562,305	買 掛 金	3,370,457
受 取 手 形	1,062,934	固 定 負 債	116,360,000
売 掛 金	10,927,254	設 備 資 金 借 入 金	116,360,000
その他の流動資産	7,341,347	引 当 金	230,490,000
固 定 資 産	2,682,560,734	人 件 費 引 当 金	60,000,000
建 物	1,572,482,525	修 繕 引 当 金	92,990,000
固 定 資 産 物 品	390,385,859	備 品 等 購 入 引 当 金	77,500,000
土 地	244,180,852	負 債 合 計 (A)	464,049,168
権 利	1,650,500	基 金	2,339,070,734
投 資 有 価 証 券	339,620	基 本 財 産 基 金	1,325,893,944
その他の固定資産	473,521,378	運 用 財 産 基 金	1,013,176,790
		積 立 金	▲ 3,360,000
		建 設 積 立 金	113,000,000
		固 定 負 債 積 立 金	▲ 116,360,000
		繰 越 金	184,180,860
		前 期 繰 越 金	159,218,923
		当 期 繰 越 金	24,961,937
		純 財 産 合 計 (B)	2,519,891,594
資 産 合 計	2,983,940,762	負債・純財産合計 (A+B)	2,983,940,762

収支計算書（自 平成10年4月1日～至 平成11年3月31日）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
事 務 費 支 出	864,872,343 ^円	措 置 費 収 入	1,051,296,499 ^円
事 業 費 支 出	262,983,714	補 助 金 収 入	16,231,750
授 産 事 業 支 出	89,602,031	授 産 事 業 収 入	89,602,031
元 利 償 還 金	22,500,322	利 用 者 負 担 金 収 入	15,388,260
繰 入 金 支 出	30,915,828	寄 付 金 収 入	32,850,085
引 当 金 繰 入	32,000,000	繰 入 金 収 入	32,917,542
雑 支 出	3,453,435	雑 収 入	133,705,740
固 定 資 産 取 得 費	40,702,297	引 当 金 戻 入	10,000,000
積 立 金 戻 入	26,048,800	設 備 資 金 借 入 金 収 入	0
当 期 繰 越 金	24,961,937	積 立 金 戻 入	16,048,800
合 計	1,398,040,707	合 計	1,398,040,707